

みずき

大垣女子短期大学通信

mizuki



CONTENTS

CLOSE UP.....	1	CLUB ACTIVITIES.....	6	新聞掲載記事拝見♪.....	12
巻頭言「巣立ちゆくあなたへ」.....	1	校友会だより.....	8	短期大学間による相互評価の実施.....	16
未来に羽ばたく飛躍の年に.....	2	大垣女子短期大学での思い出.....	9	『授業と授業評価に関する意識調査』の結果.....	16
コース・専修クラスの改編.....	3	Information.....	10		
学科だより.....	4	研究室から.....	10		

CLOSE UP 「みずき祭」「こども祭」
地域の方々と賑わう

秋の大学祭とともに冬の大学祭ともいえる「こども祭」も、今や地域の皆様に期待されるイベントとして定着してきました。いずれも学生たちが企画し運営するなかで、地域の方々とコミュニケーションをはかったり、どうしたら皆様に楽しんでいただけるのかを追究しながら企画をたてたりするなかで、学習意欲の向上にも繋がる取組として、とても有意義な事業となっています。今本学では文部科学省からの補助金をいただいて質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)を推進していますが、これとも関連してとても良い教育効果をあげています。

CLOSE UP 童謡コンサートで
創立40周年を祝う

12月6日(日)本学みずきホール(講堂)において「マンドリンとうたで綴る美しい日本の四季」コンサートを開催しました。500名収容の会場に溢れる多くの市民の皆様にご来場いただき本学の創立40周年をともに祝っていただきました。

コンサートは三部構成で、第一部は「春から夏へ」、第二部は「日本お伽噺うた」、第三部は「秋から明日へ」と題し素晴らしい演奏をご披露いただきました。出演者は本学の元教授や卒業生の方々と、新装になったホールで懐かしい思い出とともに心地よい音色を奏でて下さいました。会場には大きな拍手と歓声が響いていました。

また、このみずきホールの改修に対し、大垣市様と大垣女子短期大学同窓会様より多額の寄附を頂きました。心から御礼申し上げます。



巻頭言 巣立ちゆくあなたへ

歯科衛生科教授 畔地 美紀

格別酒好きという訳ではないが、入門は日本酒。若さに任せてウイスキー、ブランドーなどの強い酒を好んだ時期もあった。その後手軽でカジュアルなビールに移行し、いつの頃からか週に一度のワインと料理、酔うほどに心を許せる人との歓談が至福のときとなった。

ワインの歴史を紐解くと人類の歴史といわれるほど、太古の昔からワイン醸造は行われていたらしい。ブドウのあるところにワインあり。かのイソップ物語にも確かワインを題材にしたものがあった。醸造は比較的簡単だが、醸造酒には原料の品質がよく現れると言う。言い換えればブドウの品質がワインの良し悪しを決定づける。しかしブドウ栽培には恵まれない生産地、土壌、気候条

件を克服してなお、世界有数のワイン生産国もある。極上ワインは世界の愛好家から格づけられるが、それらは等しく造り手の理念が感じられる。蘊蓄を語るほどの知識はないが、先人の知恵や文化、歴史、経済に加えて醸造法、貯蔵場所、熟成方法やその期間などたゆまぬ研究と技術革新の融合がその一滴に凝縮されている。フランス、イタリア、ドイツなど老舗のワイン王国に加え南半球の国々など近年躍目すべきワイン生産国が参入してきた。今日はどのワインにしようか、選択の時点ですでにワインの鑑賞は始まっている。舌なめずりをしながらも学生教育との共通点を云々するのは教員の性か。

今年も歯科衛生科では国家試験を控え、学生

たちは受験勉強に余念がない。緊張の入学式に始まり、膨大な量の教科書や実習器具を手にした三年前。借り物のようで、しかし初々しかった初の実習姿。聞きなれない専門用語と一コマが90分の長時間の講義との格闘。一年間にも及ぶ臨床・臨地実習。そしていつしか顔つきも態度もすっかり歯科衛生士。三年間の成果を結実すべく最後の難関の国家試験が終われば卒業の季節が巡ってくる。一人一人個性豊かであってよい。新鮮さも味わいのひとつ。熟成は今後に期待したい。社会で待ち望まれている良質のワイン(歯科衛生士)を生産(教育)できたのか、自問自答する季節でもある。

短期大学間による相互評価の実施

ALO(第三者評価連絡調整責任者)
石川 隆義(歯科衛生科学科長)

大垣女子短期大学は、文部科学省が認定した第三者評価機関である短期大学基準協会より、認定制度が始まった初年度の平成18年3月に全ての評価領域(教育の内容・教育環境・学生支援・研究・社会活動等)において「適格」であると認定されました。初年度にこの認定を受けた短期大学は全国約5%であり、中部地方では60校余りある短期大学のうち3校のみでした。その後も本学は、教育の質の改善や向上に取り組み、自己点検・評価を継続的に行って参りました。しかし、自己点検だけでは自らが気付かないところがあるのでくる懸念や、他校との比較によって自らを確認するといったことができません。そこで、2つの短期大学がお互いに率直な意見交換をし、それぞれの課題を見出し自己改善の一助とする「相互評価」を約1年間かけて実施致しました。相手校は九州の福岡にある九州造形短期大学で、両校とも



に昭和40年代初頭に開学し、これまで短期大学としての学生教育を一貫して実践してきたという同様の歴史があります。お互いに2度ずつ相手校を訪問し、施設環境や実際の授業や普段の学生の様子などをつぶさに見させて頂き、非常に参考となり大いに学ぶところがありました。

相互評価の結果、教育課程、学生支援、社会的活動の面で短大教育の中で考え得るほとんど全ての施策を本学が実践しているとの良好な評価を頂いた一方、他校の目で見えて頂いた疑問点を通して改善点も見えてきました。即ち、留学生・帰国子女、障がい者、社会人等の多様な学生の受け入れとその支援の整備や学生や教職員の海外の大学等との国際的交流の活性化などが今後の課題です。本学が学生に愛され、地域に開かれた短期大学となるよう相互評価等を今後も継続的に実施したいと考えております。

『授業と授業評価に関する意識調査』の結果

FD専門部会・総合教育センター

本学ではこれまで、学生と教員が共同でより良い授業を創り上げていくための取り組みの一つとして、毎学期末に学生による授業評価(アンケート)を行ってきました。平成12年度から9年間に渡り、ほぼ同じ内容で実施してきましたが、平成21年度の前期には従来のような授業評価ではなく、授業や授業評価に対して本学の学生や教員がどのような考えを持っているかを明らかにするために、「授業と授業評価に関する意識調査」を実施しました。学生367名の回答と教員33名の回答を集計した結果の一部を、以下にご報告致します。

●授業改善の必要性

授業改善の必要性を問う項目では、「多くに必要」「一部に必要」を合わせると教員の

67%が必要だと回答しましたが、学生では全体の65%が「このままで良い」と答えています(図1参照)。

●学生による授業評価

学生による授業評価の必要性を問う項目では、「ぜひ必要」「どちらかといえば必要」を合わせると、学生の66%、教員の70%が必要だと回答しています。

●授業評価と授業改善

授業評価が授業改善に役立ってきたかを問う項目では、「役立ってきた」「どちらかといえば役立ってきた」を合わせた回答が教員では52%、学生では36%であり、授業評価の結果としての授業改善は学生にあまり伝わっていないようでした(図2参照)。

●授業評価の活用

授業評価を授業改善に活用するために必要なことを尋ねた項目では学生と教員の回答に開きがあり、学生は特に「結果を知らせること(150名)」「教員からのコメント(141名)」を求める声が多くありました(図3参照)。

以上の結果を踏まえ、さらに充実した授業評価の在り方を検討していきたいと思います。

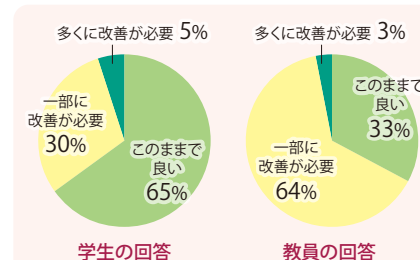


図1 授業改善の必要性

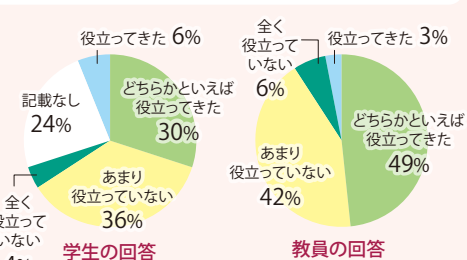


図2 授業評価と授業改善

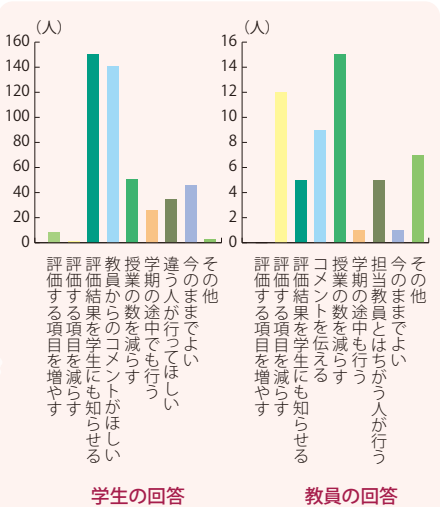


図3 授業評価の活用

大垣女子短期大学

Ogaki Women's College

〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 TEL. (0584) 81-6811 (代) FAX. (0584) 81-6818 http://www.ogaki-tandai.ac.jp

【学科構成】幼児教育科・歯科衛生科・音楽総合科・デザイン美術科

マスコミキャラクター
みずきー

◆(財)短期大学基準協会による第三者評価が始まった初年度の平成17年度、全ての評価領域において「適格」認定。



◆平成19年度、全ての校舎、耐震補強完了。



◆平成14年度から学内外全面禁煙。



大垣女子短期大学
地域の子育て施策を活用した
教育方法の改善

◆大垣女子短期大学の教育活動が平成20年度文部科学省選定の「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」に選ばれました。

大垣女子短期大学通信

みずき 2010春号
No.24発行日/平成22年3月10日
編集/広報委員会
発行/大垣女子短期大学
E-mail tosho@ogaki-tandai.ac.jp

未来に羽ばたく飛躍の年に

学 長 中野 哲

新しい年が明けました。開学40周年を迎えた昨年、大学も大きく変わりましたが、今年は寅年にふさわしい更なる改革に向けた飛躍の年にしたいと全職員は心を新たにしています。

思えば本学は短期大学の第三者評価が制度化された初年度、平成17年度に日本短期大学基準協会により適格認定を受けました。翌18年度には大垣市との間に包括協定が締結され、大垣市との協調体制が確立しました。また、20年度には文部科学省が選定する質の高い大学教育推進プログラム(通称「教育GP」)に本学の取組が採択されました。これは、東海三県の短期大学では本学のみという快挙でした。

こうして本学の教育研究活動が着々と外部から高い評価を受けるようになってきました。これらによって少子高齢化、大学への全入時代を迎えた大きな社会の流れのなかで、「自律性をもった品格のある女性の教育」という明らかな本学のミッションに則した教育が徹底してきたと考えられます。

本学の教育基本理念は、「学生のための教育」を徹底し、「地域社会に大きく貢献できる短期大学士力の養成」に力を注ぎ、地域社会にその存在感を認めてもらおうとするもので、全職員はこの明確な教育の理念に心を一つにして日夜頑張ってきています。こうして今後も全国各地に23,500人に達した本学の卒業生にとっても誇ることのできる母校として発展し続けることを願っています。

現在は、幼児教育科と歯科衛生科が三年課程、音楽総合科とデザイン美術科が二年課程となっています。それぞれの学科では専門性を高めることに努力をつづけていますが、それと同時に4学科の学生が横断的な共通科目の履修や課外活動でお互いに交流を図り人間の幅を広げることで、コミュニケーション力、相手を思いやる心をごく自然に育つことで、本学ではそれぞれの専門分野に彩りを添えつつ豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成をめざしています。

人はそれぞれ遺伝子を親から受け継ぎこの世に生を享けますが、その後の生育環境がその人生に大きな影響を与えます。まして今の学生たちは人生で最も多感な時期を本学で過ごすことになるので、素晴らしい環境を整え、本人も気付いていない未知の可能性を秘めた遺伝子をオンにしていけることが教育の原点であろうと思っています。

本学ではこれからさらに若葉のように成長していく学生が集い、その若葉をイメージする「みずき」があふれています。この情報誌は「みずき」です。本学の大学祭は「みずき祭」、新装になった講堂は「みずきホール」と名付けられ市民に開放されています。本学のイメージキャラクターは「みずきー」、自然いっぱいのキャンパスには「みずきの郷」があり、毎日学生たちの明るい声や笑顔でいっぱいです。

私たちにはこうした「みずき」があふれるキャンパスで学ぶ瑞々しい学生を健やかで社会性を持った逞しい人材に育て上げる使命があります。

この素晴らしい教育環境のなかで、学生諸君は熱意あふれる職員や他学科の学生とともに勉学に、課外活動に積極的に取り組んでいていただきたいと思います。そして、原石が輝く宝石となって世に出るように自律性をもった社会人として立派に巣立ってくれることを心から願っています。



コース・専修クラスの改編

幼児
教育科

得意の分野でより確実な保育力をつける

幼児教育科学科長 有岡 登美

平成22年度の春から幼児教育科では新しいカリキュラムが始まります。今、保育者に求められている知識・技術はもちろん、子どもの“こころ”を深く学ぶための3年間の教育課程ですが、この恵まれた3年間で新しいカリキュラムでは学生一人ひとりの資質を生かすことを特長とし、これによって学びを深めるとともに保育技術を磨き、実践力を高めることを目的としています。

図で示すように幼稚園教諭2種免許、保育士資格取得のための専門科目や教養科目に加えて、3つの専修クラスの中にそれぞれ本学独自の専修科目を設けました。

音楽専修クラスは、ピアノ、和太鼓、器楽はもちろん、ウインドアンサンブルを3年間学べることや音楽療法2種資格の取得が可能なカリキュラムになりました。

造形専修クラスは壁面構成、おもちゃづくりなどの教材研究や子どもの心を表す絵の見方、エプロンシアター、パネルシアターなど保育現場で必要とされる表現方法について学びます。

総合専修クラスは、ダンスなどの身体表現をはじめとする体育科目に障害児教育、口腔衛生などを加えるとともにインストラクターの資格取得もできます。

そして、3年制だからこそ可能な保育現場を長期に体験できる保育実務研修、地域の子育てサロンや本学の子育てサロン「ぶっぶあ」での子育て支援演習で実務能力や即戦力が確実に身に付きます。

幼児教育科では、社会が必要とする人材育成のために学生の充実した学びを積極的に図っていきたいと思っています。

共通科目

4学科の特長を生かし、社会人としての教養を深める科目

専門科目

幼稚園教諭2種免許、保育士資格等を取得するための科目

音楽専修
クラス

造形専修
クラス

総合専修
クラス

保育実務研修

3年生の前期に保育所等の現場で長期の実務研修

子育て支援演習

本学の子育てサロン「ぶっぶあ」や地域の子育てサロンでの演習

音楽
総合科

「リペアコース」スタート

音楽総合科学科長 服部 篤典

平成22年度より、音楽総合科において短大・大学では全国初となる「リペアコース」を開設することとなりました。少子化の影響、卒業後の進路に対する不安などから、音楽系大学・短大への進学者は激減しています。しかし、高校生の吹奏楽人口は、少子化とは反比例して横ばい、もしくは増加の傾向にあるのです。吹奏楽部に所属し進学を希望する高校生への調査をした結果、「楽器はもっと続けたいが、就職を考えると音楽系大学への進学は厳しい」といった意見が多くみられます。

全国的に見ても、音楽系大学では職業演奏家を目指す教育、いわゆる夢を追う教育が主流となっており、本学においても、「音楽療法コース」を開設するまでは夢を追う教育が主流となっていました。しかし「音楽療法コース」では、カリキュラムも医療系、介護系の科目を多く取り入れ、従来の音楽系大学のカリキュラムとは大きく異なり、卒業後、施設等への就職に繋がるといった出口の明確さが受け入れられて、安定した志願者を確保できています。

22年度に開設する「リペアコース」も“高校生・保護者の進学ニーズ”と“出口の明確化”をキーワードに検討を続けてきました。その結果、楽器店、楽器製造メーカー等への就職の道が開け、かつ各楽器の専門教育も充実させたカリキュラムを組むことができ、「リペアコース」をスタートさせることができました。主な特徴としては、2年次秋にヤマハ株式会社管楽器リペアグレード・Basic技術者認定コース受験、1年次週8コマ、2年次週11コマに及ぶ「リ

ペア演習」、ウインドアンサンブルコースと共に行う合奏授業「ウインドアンサンブル(個人レッスン含)」、各楽器の知識を幅広く学ぶ「楽器研究」、楽器業界について学ぶ「楽器業界ビジネス」などを挙げることができます。管楽器修理の技術を高い次元で身につけ、その上各々専門楽器の演奏技術向上に向けても徹底的に行うため大変忙しい2年間になると思われますが、卒業後の満足感、充実感は間違いなく得られると確信しています。



5



CLUB ACTIVITIES

新しい「自分」の発見。仲間との出会い！

入りたいクラブがあればすぐ連絡してみてね！
分からなければ学生支援課へたずねてみよう！

練習日 活動場所

新しい自分を発見したい！

山歩き会

野山を歩いて、リフレッシュしませんか？



デザイン美術科2年
大家 美奈都(高山西高校/岐阜)

月1 + 課外活動 場: 岐阜近郊の野山

地域歴史文化探訪会

史跡を訪ね歩いて先人達に思いを馳せる。西濃は、近くに岐阜城や大垣城、関ヶ原古戦場等があり、史跡を見て歩くにはとても良い場所です。みんなでワイワイ言いながら訪ね歩くのが楽しいクラブです。

デザイン美術科2年
新藤 彩(加茂農林高校/岐阜)

課外活動 場: 岐阜市内



世界文化研究部

世界史好きが集まった、ゆったりペースのクラブです!! 映画鑑賞や各国の料理を作ったり特色を学んだり...みずき祭にはお茶会もやりますよ!!!

デザイン美術科2年
武居 恵(木曽高校/長野)

週1 場: 学内

写真



個々が撮影した写真を持ち寄り鑑賞会をします。年二回撮影旅行へ行ったり、写真展も行っています。和気あいあいと楽しく行っています。写真を撮るのが好きな子集まれー!!!

幼児教育科2年
大濱 あす香(東東高校/滋賀)

月1 + 課外活動 場: 学外!!!!?

さわやかな汗を流したい！

水泳

自分のペースでやる事ができます。沢山泳ぎたい人も、体を動かしたい人も、初心者でも、是非来て下さい。

デザイン美術科2年
井伊 沙穂子(飛騨神岡高校/岐阜)

月1 場: 垂井スイミングスクール

トライアスロン

毎年市民マラソン大会やリレーマラソンに出場!! とにかく体を鍛えます! ややこしいことは一切なし! 楽しく、ひたすら楽しく活動しましょう。

週1 場: ジムやプール等



バスケットボール

大会出場を目指しましょう。経験したことがない人でもみんなで楽しくバスケットができるので是非来て下さいー(´ω`)/

週2 場: 体育館

テニス

友達同士で自由な雰囲気で行います。硬式もソフトテニスも行えるので経験者はぜひ集まってください!

歯科衛生科3年
高木 佑希奈(多治見西高校/岐阜)

空いた時間
場: テニスコート

バドミントン

おもいっきり羽を打って気分爽快!!! 運動不足の子やストレス解消したい子にオススメのスポーツです★スポーツ好きな子は見に来てね!!!!!!

歯科衛生科2年
武藤 雅奈(富田高校/岐阜)

週2 + 大会出場 場: 体育館

夕焼けキャッチボール部

投げて走って捕まって打つ! かなり良い運動になります。ストレス解消・運動不足にどうですか? 初心者・経験者どちらも大歓迎!

デザイン美術科2年
山田 梨奈(郡上北高校/岐阜)

週1 場: グラウンド

バレーボール

先輩、後輩とっても仲良し、とっても元気なバレー部です! 今は部員六人! 初心者大歓迎!!! 少しでも気になったら、見学にきてね!

幼児教育科3年
河合 梨賀(本巣松陽高校/岐阜)

週1 + 大会出場
場: 体育館



音楽で癒されたい!

軽音部

ライブを年に数回やります★みんなで曲を作り上げる充実感が味わえライブはすごく気持ちいいです☆部員は初心者ばかり! 一度来てみてください!

幼児教育科2年
木原 彩夏(敦賀高校/福井)

週1 場: F号館



Song & Song

基本自由で歌が好きなのは寄ってらっしゃい! みずき祭が一番の見せ場、ソロで何曲歌ってもO.K.! 恥ずかしがってたら何も始まらない!

デザイン美術科2年
西尾 三希(岐阜工業高校/岐阜)

週1 場: 光井先生研究室



ピアノ・エレクトーンアンサンブル

ピアノ連弾、サックスとエレクトーン等、いろいろな編成で曲を演奏します。楽しいですよー!!!

音楽総合科2年
橋本 歩実(江南高校/愛知)

週1 場: B号館



もくもくマイペースに...

演劇部

みんなで台本を作り、劇の練習をします。みずき祭がメインイベントです。とても楽しいです!!

幼児教育科2年
柳元 未来(愛知高校/滋賀)

週1 場: みずきホール 他



茶道部

お稽古をして、ゆったりすごせる和なクラブです。

週1 場: 和室



パソコン部

個人個人が好きな勝手にゆるゆるとやっております。パソコンが苦手な人でも大丈夫です。部長も最初は苦手でしたが何とかやっています。ギャラリーでの展示やみずき祭ではグッズ販売もするので、自分の魅力を生かしたい人は是非一緒に作品づくりをしませんか?

デザイン美術科2年
渡辺 沙央理(関有知高校/岐阜)

週1 場: 三宅先生研究室



漫画研究部



みんなで楽しくおしゃべりしながらやっています。先輩後輩関係なく、みんな仲良しなクラブですよ!

デザイン美術科2年
山木田 七海(羽島北高校/岐阜)

週2 場: クラブ部屋

プロの道を極めたい!

ウインドアンサンブル

吹奏楽が好きな人たちが集まって、クラシック・Pops・Jazzなど幅広いジャンルの曲を演奏しています。みんなで一つの事に向かって頑張れる楽しいクラブです。

音楽総合科2年
太田 彩乃(愛知工業大学名電高校/愛知)



週1 + 課外活動(年間40から50回)

場: B号館・学外演奏

ジャズサークル

学生も顧問も仲が良く、アットホームなサークルです。好きな曲をジャズにアレンジして演奏しています。

音楽総合科2年
伊藤 愛(広島皆実高校/広島)

週1 場: B号館



もっと人とふれあいたい!

児童文化

子ども達との交流やダンスを中心に、アンパンマンの格好で幼稚園の子達と手遊びをしたり楽しい部活です。今年から少しずつ和太鼓も取り入れていきたいと思っています。

デザイン美術科2年
大西 唯那(華陽フロンティア高校/岐阜)

週1 + 課外活動

場: みずきホール・スイトピアセンター



V.G.トライアングル

とにかく皆、音楽が大好き! 利用者さんとコミュニケーションをとりながら、歌を歌ったり楽器を演奏したり('ω')利用者さんの笑顔を見ると、心があたたかくなります☆とっても楽しいクラブですよ! ^ω^

音楽総合科2年
櫻田 桃子(小松市立高校/石川)

月1 場: 社会福祉施設



べるっ子

ボランティア活動を行って、障がいを持った子どもたちとすごします。マンツーマンで関わることで、日常生活に必要なスキルについて考えたり、多くのことを学べます。

不定期 場: 学外



aim

みずき祭で販売する部冊子の作成、持ち込みツアーの作品、外部イベントへの出品など常に漫画やイラストを描いています。夏休み冬休みに合宿も行います。

デザイン美術科2年
酒井 由紀子(名古屋経済大学高蔵高校/岐阜)

週1 場: クラブ部屋



学友会 だより

私たち学友会役員は学友会であるみんなのリーダーとして、行事等運営をしていきます。
先輩、後輩、他学科との交流を大切に有意義な学生生活にしていきたいと思います。

2009 年の活動

学科交流会『宝集めおにごっこ』

初めて自分たちで計画・実行した行事でした。みんな初対面でしたが、これをきっかけに仲良くなれました。放課後はみんなで話し合ったり、準備をしつたりいろんな事が新鮮で楽しかったです！

FSC

FSCでは、入学したばかりの1年生に学友会の顔を早く覚えて貰えるようにビデオを撮りました。長い時間かけて準備した甲斐もあり、笑いもとれて最高の出来栄でした。部活紹介は司会のコメントだけではなく、できるだけ活動をしている生徒がステージで発表するよう工夫しました！

みずき祭

みんな楽しんでる姿や頑張っている姿が見られ本当に良かったです。色をテーマに、一人一人のいろがしっかりと作られていたと思います。人を楽しませるといった気持ちが伝わってきました。準備から頑張っていて良かったです。



副会長 デザイン美術科 矢野 麻沙美
会計 歯科衛生科 多賀 春那
音楽総合科 古川 仁子
書記 音楽総合科 中島 瑠美



監査 デザイン美術科 安田 育恵
監査 歯科衛生科 福田 真希
幼児教育科 平塚 理恵
会長 幼児教育科 白井 菜々

2009年



音楽総合科 大阪 幸子
デザイン美術科 中村 早希
会長 デザイン美術科 田上 亜利紗
歯科衛生科 西片 香苗
幼児教育科 森本 理絵
書記 幼児教育科 大前 緩奈
副会長 音楽総合科 富田 紗加
会計 歯科衛生科 清水 由布紀

薔薇を贈る思い

入学時には「淡いピンクの薔薇」、卒業式には「深紅の薔薇」をいただきますよね。この薔薇の意味を、みなさんは知っていますか？
私たちは大垣女子短期大学に入学し、知識や技術を身に付け、様々な経験をしてきました。夢の実現に向かってたくさんの努力を積み重ね、色濃く、深く成長して卒業していく私たちの姿を、ピンクから深紅に染まった薔薇の色に例えて、先生が贈ってくださるのです。

2009年会長
田上 亜利紗 作画

2010年

2010年会長 白井 菜々

先輩から、学友会を引き継ぎ 5か月が過ぎました。最初の企画は学科交流会でした。うまくやっていけるのか不安で、なかなか初めの一步を踏み出すことができませんでした。が、「自分たちなりにまず、考えてやってみよう」とみんなで声をかけ合い、前年度学友会の先輩方の協力の元、無事成功する事ができました。先輩方の支えが私たちに初めの一步を踏ませてくれて、とても良い交流会になりました。
これから「FSC」「みずき祭」など、いろいろな活動があります。どうしようと悩んだり、違うよとぶつかり合ったり。大変な事もたくさん出てくると思います。でも、『頑張ろうよ』と、お互い声をかけ合い私たちなりの企画を提案し、みんなが楽しめるイベントを作っていきたいと思います。1年間、頑張っていきますのでよろしくお願いします。

幼児教育科

せんせいだいすき！

渡邊 亜美

平成20年3月卒業
なかぞね保育園勤務



保育士になるという夢が叶ってもうすぐ2年が経とうとしています。私は今4歳児クラスの担任をしています。最初は毎日不安で、自分の力のなさに悔しい思いをしたこともありましたが、尊敬できる先輩たちに支えられ、何とかここまで来ることができました。

また、「わたなべせんせい、だいすき！」と子どもが言うてくれたり、まだ上手く字も書けないのに“せんせいへ”と一生懸命手紙や似顔絵をかくてくれた時は、本当に嬉しくて、つらかったことなんて一気に吹き飛んでしまいました。こういう瞬間があるからまた次も頑張ろうって思えるのだと思います。今は毎日楽しくとても充実しています。

保育の現場に出ると、つらいこと、悲しいこと、たくさん経験するかもしれませんが、その分うれしいこと、楽しいことも倍味わえると思います。私は保育士になってよかったなと心から思っています。かわいい子どもたちが憧れる、ステキな先生になってください！

歯科衛生科

社会人としての気付き

片岡 朋美

平成18年3月卒業
美江寺歯科医院勤務



私は学生時代勉強が苦手で、先生方に変えて迷惑をおかけしていました。そんな私ですが、友達や先生方が諦めず熱心に指導していただいたおかげで、無事国家試験に合格することができました。現在、歯科衛生士として勤め4年になります。今の職場は、在学中のバイト募集がきっかけでした。そこでとても素敵な院長、そして先輩と巡り合うことができました。医院のスタッフは歯科衛生士のみで受付業務から院長の助手、そして歯周治療を主に行っており、初期治療からメンテナンスを担当制で行っています。就職して一人前となるまで5年ほどかかりますが、まだまだ半人前で勉強会などに参加したりと日々勉強中です。そして、歯科衛生士として働く限り、基礎はとても大切なことだと就職して初めて気付きました。今ではもっと勉強しておけばよかったと後悔しています。皆さんはこれからだと思しますので、今の時期を大切にしてもらいたいと思います。そして素敵な就職先を見つけて下さい。

大垣女子短期大学での思い出

音楽総合科

笑顔いっぱい

山田 沙綾

平成20年3月卒業
(株)ツクイ(ツクイ文京サービスセンター)勤務



私は、生活相談員としてデイサービスに就職し、仕事の合間をみて音楽療法を行っています。生活相談員の仕事は、利用者全員の様子を観察し、個別に関わりいろんな状況、状態を把握し、報告する大事な立場にある職種です。

福井で音楽療法を行う所は少なく、新しい事に取り組んでいこうと言われ、可能性があると思っていたのですが、現場の仕事が大変で音楽療法が思うようにできずにいました。私は音楽療法をしたいという思いを伝え続けました。時間は少しかかりましたが、昨年の11月より福井と石川の4事業所で継続して行えることになりました。自分の思いや意見を伝えることで夢をひらくことができると思いました。

音楽は、人の心を動かし、喜怒哀楽を引き出せるものだと思います。そんな音楽でたくさんの人と出会い、たくさんの笑顔の花を咲かせていきたいです。

デザイン美術科

すべての出会いと経験に感謝

中田 裕子

平成20年3月卒業
(有)プレジャー企画『お絵かき隊(似顔絵描き)』勤務



大垣女子短大で過ごした2年間は私の宝物です。同じ志を持って共に成長し合える友達や、信頼できる先生方に出会えたこと、多彩な分野で絵を描かせていただいたこと…よく笑い、よく考え、毎日充実していました。今の仕事に就いたのも学内外のイベントがきっかけです。もともと似顔絵が大好きでしたが、お客さんと会話しながら描くことの面白さにどっぷりはまってしまいました。お客さん一人描くのに約15分、その間の会話を通して、まだまだ知らない世界をたくさん知ることができ、いろいろな面でとても勉強になります。自分の知識や経験なんてほんの少しのことに感じ、同時に毎回新鮮な気持ちになれます。ありがたいことにお客さんのなかにはリピーターの方や私の出勤日を調べて来て下さる方もいらっしゃいますが、約8割の方はたった15分間の出会いです。その短い時間にお客さんが楽しんで、満足していただけることが私の幸せです。

似顔絵描きのお客さんは皆幸せな方で、私もその幸せやパワーを分けていただけてとても幸せです。この仕事に出会うチャンスをいただいた母校に感謝です。

今までの経験を糧に、そして私に関わって下さった全ての人に感謝して、これからも楽しんで技も接客も磨いていきたいと思います。出会いと経験は多いほど自分にプラスになります。学生生活はあっという間です。今しかできないことにたくさんチャレンジして貪欲に毎日を楽しんで下さい。

●平成22年度 主な全学行事

オリエンテーション
……………4/1(木)・5(月)・6(火)
入学式……………4/2(金)
ファーストステップキャンパス(FSC)
……………4/7(水)
前期授業……………4/8(木)～7/28(水)
学長講話……………5/12(水)・12/15(水)
消費生活講座……………5/19(水)
防犯講座……………6/9(水)

健康講座……………7/7(水)・10/6(水)
前期定期試験……………7/29(木)～8/4(水)
後期授業……………9/27(月)～2/4(金)
音楽総合科定期演奏会……………10/3(日)
十万石まつり……………10/10(日)
みずき祭前日祭・みずき祭
……………10/22(金)・23(土)
税金講座……………11/10(水)
歯科衛生科決意を語る会……………11/24(水)

人権講座……………12/8(水)
こども祭……………1/23(日)
後期定期試験……………1/31(月)～2/4(金)
デザイン美術科卒業記念展
……………2/7(月)～2/13(日)
音楽総合科卒業演奏会……………2/11(金)
平成22年度卒業証書・学位記授与式
……………3/20(日)

●平成22年度 オープンキャンパス

詳細等お問い合わせ先：教務・広報課 電話 0584-81-6819(直通)



きて、みて、知って、
大垣女子短期大学

オープンキャンパス2010 開催日程

3/27(土)、5/22(土)、6/13(日)、6/26(土)、7/31(土)、
8/1(日)、8/22(日)、9/11(土)、9/25(土)、10/3(日)、
10/23(土) 大学祭同時開催、12/12(日)

●デザイン美術科 実技講習会

3/24(水) 高山、3/25(木) 多治見、3/26(金) 飯田

法人情報

寄附

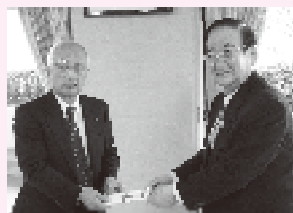
本学創立40周年記念事業としてみずきホール(講堂)等の改修工事を実施する際に、大垣市様並びに大垣女子短期大学同窓会様より、多額のご寄附を賜りました。
心からお礼申し上げます。



新装になったみずきホール(講堂)客席

平成22年2月15日、大垣センチュリーロータリークラブ様より、本学の教育研究活動の充実発展のためとして多額のご寄附を賜りました。心からお礼申し上げます。

早急に関係の学科と協議し、有効に活用させていただきます。
ありがとうございます。



研究室から

ひとりごと

2010年は、5月に六本木国立美術館、6月に巡回展、夏は頼まれ仕事の対応、10月の中部展、11月の二人展、12月の試み展など、展覧会、制作の予定がある。制作量はあるが出来る限り取り組みたいと思っている。

今は、学生の卒研に多くの時間を使っている。学生達は、精神的、肉体的に一杯になりながらも一生懸命対応してくれている。それが気持ちよく、又、熱く感じられ、こちらも精一杯答える。それを楽しんでいる。そこには制作に関わる一途な思いがある。人の関わりもこうありがたいが、どうも自分は思いとは逆に迷惑をかける側の人間に思える。



デザイン美術科 教授 加納 秀美

先日、「展覧会のポスターに作品写真を使い。2月に送って欲しい。」と事務局から依頼があった。2月までの卒研の関わりを大切に思い、又、時間のなさから作品の質と密度の低下を考える。

大学、制作、生活の時間の流れの中で、気をつけないと現場対応だけで終わりがちな現状、今を見つめなおし、次への発想、ビジョンなど考えることは多くあるが次の仕事、時はもうすぐそこに来ている。

人は合理的で直線的な考え方だけでなく、回り道、寄り道、道草などいろいろなものを取り入れる螺旋的で幅のある考え方を必要とする



踊り子

生き物と考えたい。

自分を見つめ、古き良きものに学び、見過ごされたもの、忘れられたものを再び見直し、これからの自分に何が考えられ、何ができるかを見据えたい。

そして、少しでも無駄なことに一生懸命になれる時間と気持ちを大切に考えたいと思う。

2009.12.31 11:30記

委員会・事務局だより

総合教育センター

総合教育センター この1年

総合教育センター 矢田貝 真一

『総合教育センター』が活動を開始して1年を迎えます。センターは高等教育の在り方が大きく見直される中で、本学教育の充実と再構築に資する目的で誕生しました。この1年に、教養教育・入学前教育・教育活動に対する評価などのあり方を検討して今後の方針を取りまとめるとともに、教育GPやその基盤となるFD活動を推進してまいりました。平成22年度も、本学がさらに質の高い教育を提供できますよう、学習と教育活動の充実と教育の質保証に向けて努めてまいります。

GP専門部会

大学教育改革プログラム合同フォーラムに参加しました

GP専門部会長 役田 亨



文部科学省・財団法人文教協会主催、平成21年度大学教育改革プログラム合同フォーラムが1月7日、8日東京ビッグサイトを会場に開催されました。平成20年度文部科学省が選定する質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)に本学の教育取組「地域の子育て施策を活用した教育方法の改善」が東海三県の短期大学から唯一選定され、その取り組みを続けていますが、今回の合同フォーラムにはポスターセッションと事例発表で参加しました。昨年度もポスターセッションに参加して取組の紹介や概要説明などを行いました。今回はフォーラムに参加する短大に実施された事例を聞きたい取組に関するアンケートの結果、事例発表の2校のひとつに本学の取組が選ばれました。

当日は大学をめぐる厳しい状況もあってか、年明け間もないにもかかわらず多くの大学関係者の参加がありました。分科会は「短期大学の挑戦」と名づけられ、事例発表は約300名の参加者でほぼ満席の熱気があふれる会場でおこなわれました。事例発表は本学と広島、安田女子短期大学が担当し、事例の報告と意見交換や質疑応答が行われました。特に本学の発表には会場から、全学的な関わりのある方や、地域や行政との連携、効果の検証など多くの質問が寄せられ、取組への関心の高さが伺われました。事例発表と並行して、ポスターセッションにも参加しましたが、多めに用意した資料は開始3時間ほどで無くなってしまい、後日郵送させていただくこととお断りしなくてはならない盛況でした。展示を見に来ていただいた人からは、地域に密着した全学的な取組であることや、授業と関連させた体験を学生にフィードバックしながら取組の成果が見られ始めていることなどに関心を持ち、参考にしたいという声が多く聞かれました。今回、多くの人に関心を持ていただいたことは喜ばしいことではありますが、「教育は百年の計」といわれます。継続して内容の充実、深化や今後の発展にも責任があることも忘れてはなりません。

図書・生涯学習委員会

《平成21年度公開講座》

第1回 大人のためのピアノ講座(音楽総合科)
6月23日～7月14日全4回 17名参加

第2回 音楽療法入門(公開授業)(音楽総合科)
7月1日・8日全2回 18名参加

第3回 親子で楽しむ(幼児教育科)
11月8日～12月6日全4回 99名参加

第4回 郷土の歴史と文化(教養)(公開授業)
7月6日・13日全2回 37名参加

第5回 Wordで作ろう(デザイン美術科)
7月9日～30日全4回 19名参加

第6回 健やかに生きるために(幼児教育科・歯科衛生科)
8月20日～9月24日全6回 21名参加

第7回 音楽療法 専門職のための音楽活用法(音楽総合科)
9月26日 10名参加

第8回 星・ハートのペンダントを作ろう(デザイン美術科)
11月6日～27日全3回 15名参加

※第3回は一部日程を変更して開催



「親子で楽しむ」
サーキット運動あそび

総務課

★平成22年度前期学納金の納入について

納入期限……平成22年4月10日(土)

納付書類をお送り致しました(新入学生を除く)。万一、一括納入が難しい場合には、分割納入する制度もあります。分割納入につきましては、早急に学生支援課までお申し出下さい。

小さな発見



音楽総合科 講師
傍島 香織

さて、どこに
いるでしょう?



学内を流れる川に、よく「ヌートリア」が姿を現します。冬の寒い日には、川岸で背中を丸めて、時には何匹かで体を寄せ合って、寒さをじーっとこらえているような姿はとても愛らしく、早く暖かい春が訪れないかと願わずにはいられませんでした。

早く 春が
来ないかなあ……

新聞に掲載された
本学の記事・本学のスナップ

平成21年3月～
平成22年2月



山田 新
大垣女子短大新
理事長に山田氏

大垣女子短大新理事長に山田氏
(大垣市西之川町)は、
大垣女子短大の理事長に
就任し、任期は四年間。
大垣女子短大の理事長に
就任し、任期は四年間。
大垣女子短大の理事長に
就任し、任期は四年間。

山田新
理事長
就任

平成21年3月2日
岐阜新聞

素描

日本の宝 アニメーション
大垣女子短大 デザイン美術科講師 黒田 皇

皆さんは政府がアニメーションを奨励しているのをご存じですか？アニメーションは、日本の宝の一つです。黒田講師は、アニメーションの魅力を伝えるために、大垣女子短大で授業を行っています。アニメーションは、日本の文化を世界に広げる重要な手段です。黒田講師は、アニメーションの魅力を伝えるために、大垣女子短大で授業を行っています。

黒田 皇
講師による
「素描」掲載

平成21年3月2日
岐阜新聞

中山道赤坂宿 家康イメージ画コンペ



入賞8作品決まる
イベントなど活用へ

平成21年3月5日 岐阜新聞

「一番の目標かなう」



ミツヤオミさん初の快挙

大垣女子短大卒業生の作品映画化
ミツヤオミさん初の快挙
大垣女子短大卒業生の作品映画化
ミツヤオミさん初の快挙
大垣女子短大卒業生の作品映画化
ミツヤオミさん初の快挙



追分の音色、児童ら魅了
大垣女子短大音楽部が、追分の音色を児童たちに届ける。児童たちは、追分の音色に魅了された。

平成21年3月7日 岐阜新聞

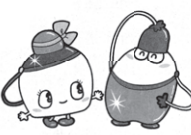
気高く、清く、美しく



平成21年3月18日 中日新聞

女の子と男の子
マスコット決定

大垣市「かがやきリフトタウン構想」
女の子と男の子マスコット決定
大垣市「かがやきリフトタウン構想」
女の子と男の子マスコット決定



平成21年4月5日 岐阜新聞



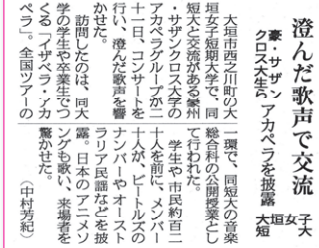
目標に向かって努力
大垣女子短大音楽部が、目標に向かって努力している。

平成21年4月2日 中日新聞



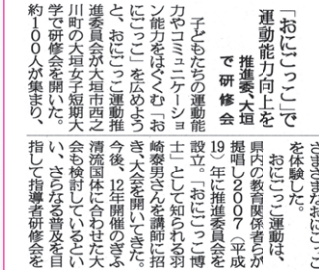
平成21年4月18日 中日新聞

本読みし世界を知
大垣女子短大が、本読みし世界を知っている。



澄んだ歌声で交流
大垣女子短大音楽部が、澄んだ歌声で交流している。

平成21年4月23日 岐阜新聞



運動能力向上を
大垣女子短大音楽部が、運動能力向上を目指している。

平成21年6月23日 岐阜新聞

食育の知識深める



平成21年6月2日 岐阜新聞



平成21年6月10日 中日新聞



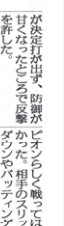
平成21年6月23日 岐阜新聞

景観条例の説明



平成21年7月2日 中日新聞

風神ライカ王座ならず



平成21年7月7日 中日新聞

似顔絵、演奏楽しんで

平成21年7月15日 中日新聞

古里の特産品、理解深める

大垣女子短大生 木升作りに挑戦



本市西之川町の古里地区で、大垣女子短期大学で学ぶ学生たちが、古里の特産品「木升」の作り方を学び、実際に作りに挑戦している。木升は、古里の伝統的な工芸品で、主に家具や装飾品に用いられる。学生たちは、古里を訪れ、地元の人々から作り方を学び、実際に木升を作っている。この活動を通じて、古里の文化や伝統を学ぶだけでなく、地域貢献にも取り組んでいる。

平成21年7月16日 岐阜新聞

身近な物で遊ぼう

やり方を工夫させる 発想力が養われ体力もつく



大垣女子短期大学で、子どもたちが身近な物を使って遊ぶ活動が行われている。この活動は、子どもたちの発想力を養い、体力を鍛えることを目的としている。子どもたちは、紙、粘土、ストローなど、身近な材料を使って、様々な作品を作っている。この活動を通じて、子どもたちは創造力や問題解決能力を身につけている。

平成21年9月8日 中日新聞

音楽総合科OGがコンサート

(左) 平成21年9月19日 中日新聞
(下) 平成21年9月25日 岐阜新聞

迫力のピアノ演奏

短大卒業生がコンサート



大垣女子短期大学の卒業生たちが、ピアノ演奏のコンサートを開催した。このコンサートは、卒業生たちの音楽的成長を披露する機会として開催された。演奏は、大垣女子短期大学の音楽総合科の卒業生たちによって行われ、観客からは大きな反響を呼んだ。

平成21年9月29日 中日新聞

大垣女子短大が講堂を改装

記念コンサート市民魅了




大垣女子短期大学の講堂が改装され、記念コンサートが開催された。このコンサートは、改装後の講堂の魅力をアピールするために行われた。コンサートには、大垣女子短期大学の学生たちが参加し、市民たちを魅了した。

平成21年9月25日 中日新聞
平成21年10月1日 岐阜新聞

中国琵琶・二胡に学生が共演

創立40周年講堂改修 30日記念コンサート




大垣女子短期大学の講堂が改修され、30日記念コンサートが開催された。このコンサートは、改修後の講堂の魅力をアピールするために行われた。コンサートには、中国琵琶と二胡を演奏する学生たちが参加し、観客を魅了した。

平成21年10月1日 岐阜新聞

独特の静謐感漂う

松本英三木版画展



大垣女子短期大学で、松本英三の木版画展が開催された。この展覧会は、松本英三の独特な静謐な表現を堪能できる。松本英三は、大垣女子短期大学の卒業生であり、その作品は国内外で高い評価を受けている。

平成21年9月29日 中日新聞

告知板

大垣女子短大祭



大垣女子短期大学で、大垣女子短大祭が開催された。この祭りは、大垣女子短期大学の学生たちが参加し、様々なパフォーマンスや展示を行う。祭りは、大垣女子短期大学の魅力をアピールする機会として開催された。

平成21年10月27日 岐阜新聞

みんなで応援

学生も遊び通し実習



大垣女子短期大学で、学生たちがゲームを通じて実習を行う活動が行われている。この活動は、学生たちのコミュニケーション能力を高め、チームワークを鍛えることを目的としている。学生たちは、ゲームを通じて、様々な課題を解決し、チームで協力して目標を達成している。

平成21年11月10日 中日新聞

ゲームなどで地域交流

大垣女子短大が「こども祭」



大垣女子短期大学で、「こども祭」が開催された。この祭りは、子どもたちがゲームを通じて地域交流を行う機会として開催された。子どもたちは、大垣女子短期大学の学生たちと交流し、様々なゲームを楽しむことができた。

平成22年1月25日 岐阜新聞

練習追い込み「音入魂」

5年に1度、卒業生と共演



大垣女子短期大学で、5年に1度の卒業生と共演のコンサートが開催された。このコンサートは、卒業生たちの音楽的成長を披露する機会として開催された。コンサートには、大垣女子短期大学の学生たちが参加し、卒業生たちと共演した。

平成21年10月27日 岐阜新聞

おにごっこで体力向上を

推進委 大垣で児童ら運動大会

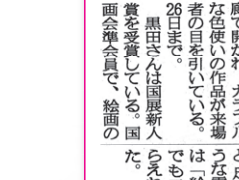


大垣市で、児童らの運動大会が開催された。この大会は、児童たちの体力向上を目的として開催された。大会には、大垣市の児童たちが参加し、様々な運動競技を行った。

平成21年11月20日 岐阜新聞

カラフルに花を飾る

大垣女子短大生が花を飾る



大垣女子短期大学で、学生たちが花を飾る活動が行われている。この活動は、学生たちの創造力を高め、美的感覚を鍛えることを目的としている。学生たちは、花を使って、様々な作品を作っている。

平成21年11月15日 中日新聞

アニメや彫刻 学業の集大成

大垣女子短大 県美術館で卒業記念展



大垣女子短期大学で、県美術館で卒業記念展が開催された。この展覧会は、卒業生たちの学業の集大成を展示する機会として開催された。展覧会には、卒業生たちのアニメや彫刻の作品が展示された。

平成22年2月10日 岐阜新聞

100人、息合わせ大合奏

大垣女子短大ウィンドアンサンブル定演

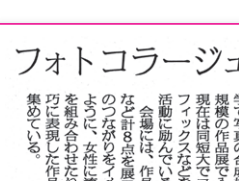


大垣女子短期大学で、ウィンドアンサンブルの定演が開催された。この定演は、ウィンドアンサンブルのメンバーたちが参加し、様々な楽曲を演奏した。定演は、ウィンドアンサンブルの魅力をアピールする機会として開催された。

平成22年2月15日 岐阜新聞

フォトコラージュ、独創的

大垣女子短大生が作品展



大垣女子短期大学で、学生たちのフォトコラージュ作品展が開催された。この展覧会は、学生たちの独創的な表現を堪能できる。展覧会には、学生たちのフォトコラージュ作品が展示された。

平成21年11月20日 岐阜新聞

カラフルな色使いの作品を発表

大垣女子短大生が作品展



大垣女子短期大学で、学生たちのカラフルな色使いの作品展が開催された。この展覧会は、学生たちの創造力を高め、美的感覚を鍛えることを目的としている。展覧会には、学生たちのカラフルな色使いの作品が展示された。

平成22年1月22日 岐阜新聞

集大成、優雅な独奏

大垣女子短大が卒業演奏会



大垣女子短期大学で、卒業演奏会が開催された。この演奏会は、卒業生たちの音楽的成長を披露する機会として開催された。演奏会には、大垣女子短期大学の卒業生たちが参加し、優雅な独奏を行った。

平成22年2月12日 岐阜新聞